

ヘルスライフNEWS秋号

10月のテーマは

『新型コロナウイルスとインフルエンザの違い』

取り上げてほしいテーマなどありましたらご連絡ください。

2022年 10月

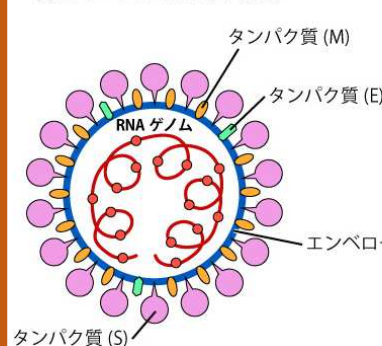
総務部 労務安衛課

作成：水谷

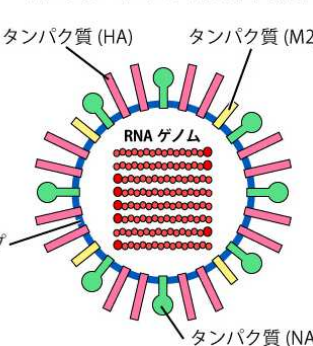
新型コロナウイルスとインフルエンザの違いを知っていますか？

1.新型コロナとインフルエンザは似ている？！

新型コロナウイルスの構造



インフルエンザウイルスの構造



新型コロナとインフルエンザウイルスは、大きさも形も非常によく似ています。両ウイルスともアルコールや石鹸に弱い「エンベロープ」を持つウイルスです。また表面にタンパク質がとげのようになっており、このタンパク質が人体の細胞にある受容体と結合することでウイルスに感染してしまうのです。

2.感染力や症状はどう違うの？

	新型コロナウイルス感染症	インフルエンザ
感染経路	飛沫、接触、飛沫核（空気）※	飛沫、接触、飛沫核（空気）※
症状の持続期間	2～3週間	3～7日間
致死率	0.25～3%	0.10%
季節性	今のところなし	あり（1～2月がピーク）
潜伏期間	2～14日（平均5日）	1～4日（平均2日）
感染した場合の無症状率	数%～60%	10%
症状	発熱、咳、のどの痛み、倦怠感 頭痛、息切れ、嗅覚障害 味覚障害など	発熱、咳、のどの痛み、倦怠感 頭痛、鼻水、関節痛 下痢（子供に多い）など

※…飛沫感染・接触感染がメインだが、換気の悪い場所では空気感染が起こり得るとの情報が多い。

新型コロナは潜伏期間が長く、一部は無症状のまま治癒しますが、
無症状の時期にも強い感染力があります。

症状が出てから感染のピークを迎えるインフルエンザとは違い、

新型コロナは症状のない状態でも、既に多くの人にうつしている可能性が高い！！

3.インフルエンザと新型コロナの同時流行に注意を！

今年はインフルエンザと新型コロナが同時流行すると言われています。

南半球のオーストラリアでは2022年に入って、この**2年間流行が抑えられていたインフルエンザがついには大流行にいたっています。**

日本でもこういった現象が起こる可能性は十分考えられるため注意が必要です。

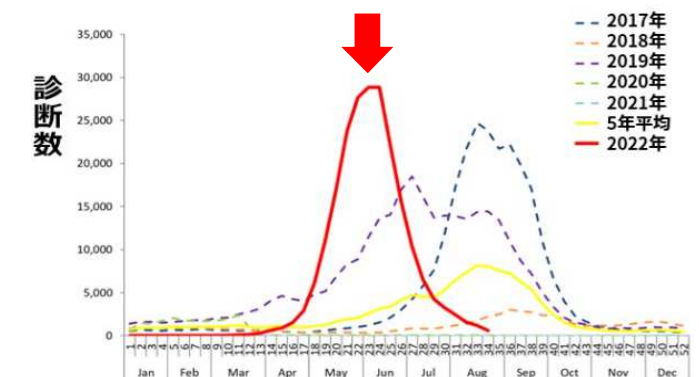
重複感染した場合、...

新型コロナ単独と比べると、

人工呼吸器を必要とするリスクが4.14倍

院内で死亡するリスクが2.35倍上昇する

ことが分かっています。



4.予防のポイント

①こまめな手洗い、手指の消毒を心がけましょう！

外出後は、指や爪の間・手首まで石鹸で洗い、ウイルスを流しましょう。



②正しくマスクを着用しましょう！

不織布マスクを使い、鼻まで覆いましょう。



③三密を避けましょう！

人混みは避けましょう。



④室内は適度な湿度を保ちましょう！

加湿器を利用して湿度（50～60％）の管理と、1～2時間おきに換気をしましょう。



⑤体調管理をしっかり行いましょう！

十分な休養とバランスのとれた食事を心がけましょう。



⑥流行する前にインフルエンザワクチンを接種しましょう！

新型コロナとインフルエンザのワクチンの同時接種は、単独で接種した場合と比較して有効性及び安全性が劣らないとの報告があること等を踏まえ、実施が可能となりました。

大橋鉄工でも下記2日間の日程でワクチン接種を行います。

①11月24日（木） 14：30～16：30 ②11月30日（水） 15：00～17：00



つまり、今までのコロナ対策を引き続き意識することがインフルエンザの予防につながり、重複感染症の予防となります。

引き続き、感染症予防に取り組んでいきましょう。

